



令和2年9月2日
内閣府（防災担当）

令和2年防災功労者防災担当大臣表彰式について

標記式典を下記のとおり執り行うのでお知らせします。

なお、受賞者については別紙のとおりです。

記

1. 日 時：令和2年9月8日（火）13時30分～
2. 場 所：中央合同庁舎第8号館1階講堂
3. 出席者：防災担当大臣
4. 式次第：（開式）13時30分～（閉式）14時00分
 - （1）防災担当大臣あいさつ
 - （2）防災担当大臣表彰状授与
 - （3）受賞者代表謝辞
5. 取 材：表彰式は公開（カメラ撮り可）。ただし次の事項に留意。
 - （1）取材を希望される場合は、9月7日（月）12時00分までに別紙2にて事前登録をお願いします。
 - （2）取材を希望される方は、表彰式当日、12時45分～13時15分までの間に中央合同庁舎第8号館1階講堂入口にて取材の受付を済ませて下さい。
 - （3）取材をされる際には、表彰式の支障とならないよう現地担当者の指示に従って下さい。
 - （4）中央合同庁舎入館の際は身分証明書及び報道であることを示す社名入りの腕章を提示し、取材中は着帯下さい。（提示がないと入館できないことがあります。）
6. 備 考：新型コロナウイルス感染症対策のため、御協力をお願いいたします。
 - ・マスク着用にご協力ください。
 - ・体調が優れない方におかれましては、参加を見合わせてください。
 - ・調整の上、参加人数（原則各社1名）を絞り込んでください。
6. その他：今後の災害対応状況に応じて、表彰式の日程が変更又は中止となる場合がございます。今後の発表にご留意願います。

【本件問合せ先】

内閣府政策統括官（防災担当）付

参事官（総括担当）付 真弓、内野、前田

電話：03-3593-2844（直） FAX：03-3503-5690

令和2年防災功労者防災担当大臣表彰

表彰式次第

- 1 日 時 令和2年9月8日(火)
(13:30 ~ 14:00)
- 2 場 所 中央合同庁舎8号館1階講堂
- 3 表彰式次第
- (開 式) 13:30
- (1) 防災担当大臣あいさつ
(2) 防災担当大臣表彰状授与
(3) 受賞者代表謝辞
- (閉 式) 13:45
- 4 記念写真撮影 13:50
- (終 了) 14:00

令和2年 防災功労者防災担当大臣表彰受賞者名簿

○ 個人

〔防災体制の整備〕

佐竹 健治	(内閣府)
小室 広佐子	(内閣府)
立木 茂雄	(兵庫県)
下原 輝男	(熊本県)

〔防災思想の普及〕

高柳 啓成	(静岡県)
大塚 三枝子	(日本赤十字社)
牧野 純子	(日本赤十字社)

○ 団体

〔防災体制の整備〕

オムロンヘルスケア株式会社	(内閣府)
衣笠学区自主防災会	(京都府)
城園ハイツ防災会	(鳥取県)
宗像地区防災協会	(福岡県)
一般社団法人OPENJAPAN	(全国社会福祉協議会)

〔防災思想の普及〕

岩根自主防災会	(愛知県)
渭北自主防災会連絡協議会	(徳島県)

〔災害時の防災活動〕

千葉県赤十字奉仕団	(日本赤十字社)
日本赤十字社栃木県支部看護奉仕団	(日本赤十字社)

以上、16件(7個人、9団体)

功 績 概 要

個人 [防災体制の整備]

推 薦 者	内 閣 府
ふ り が な 氏 氏	さたけ けんじ 佐竹 健治
住 所	東京都文京区
職 業	東京大学地震研究所教授
功 績 の 概 要	<p>氏は、地震・津波の研究分野において優れた成果を残しているほか、防災行政へ有用な提言を行うなど、その活動は非常に幅広いものである。</p> <p>研究活動分野においては、発生繰り返し間隔の長い巨大地震や津波を地学的な変動現象として捉え、史料に基づく歴史地震学的研究手法、海岸地形、津波堆積物などの地形・地質学的研究手法を用いて、過去に発生した地震や津波について調べると同時に、将来の発生や被害の予測を行うなど、巨大地震・津波研究の第一人者として高い学術的成果をあげている。</p> <p>防災行政においては、南海トラフ地震や首都直下地震、日本海溝・千島海溝沿いにおける地震のそれぞれにおいて、その最大クラスの地震モデルによる震度分布や津波高等を検討する各モデル検討会の座長・委員を務められるほか、令和2年度より中央防災会議の下に設置した「日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震対策検討ワーキンググループ」においても委員を務められるなど、今日に至るまで幅広い知見から数多くの有用な提言を継続して行っている。</p>

功 績 概 要

個人 [防災体制の整備]

推 薦 者	内 閣 府
ふ り が な 氏 氏 名	こむろ ひさこ 小室 広佐子
住 所	東京都渋谷区
職 業	東京国際大学副学長兼言語コミュニケーション学部長
功 績 の 概 要	<p>氏は、NHKの報道番組においてリポーター・キャスターを務めた後、災害時のマスメディア等を通じた情報伝達と行動等を研究し、広く講演活動も行っている。</p> <p>また、中央防災会議「大規模水害対策に関する専門調査会」専門委員、防災対策推進検討会議「津波避難対策検討ワーキンググループ」委員、「災害時の避難に関する専門調査会」専門委員、内閣府「広域的な火山防災対策に係る検討会」、気象庁「気象業務の評価に関する懇談会」等を歴任しており、平成25年3月から中央防災会議委員を務めるほか、中央防災会議「防災対策実行会議」の委員としても、専門とするマスメディア論、社会情報論、効果論、放送、災害情報の観点から、数多くの有用な提言を行っている。</p>

功 績 概 要

個人 [防災体制の整備]

推 薦 者	兵 庫 県
ふ り が な 氏 名	たつき しげお 立木 茂雄
住 所	兵庫県神戸市東灘区
職 業	同志社大学社会学部教授
功 績 の 概 要	<p>氏は、福祉防災学の専門家として、兵庫県が推進する防災と福祉の連携促進事業において、専門的見地から避難行動要支援者の避難対策について貴重な提言を行うなど、県の防災・減災対策の充実に多大な貢献を果たした。</p> <p>また、災害時の高齢者や障害者等の避難対策について、内閣府が設置する検討会で委員を歴任し、提言・検証を行うなど、防災と福祉の連携に尽力し、防災・減災対策の充実に多大な貢献を果たした。</p>

功 績 概 要

個人 [防災体制の整備]

推 薦 者	熊 本 県
ふ り が な 氏 氏 名	しもはら てるお 下原 輝男
住 所	熊本県上天草市
職 業	退職者
功 績 の 概 要	<p>氏は、地域住民の防災リーダーとして、長年、住民参加型の防災訓練を企画・立案し、地域の弱点を克服するための実践的訓練を行っている。</p> <p>訓練には、毎年地区内の約100人の地区住民が参加しており、住民のみならず地元消防団を巻き込んで行われるが、これは、下原氏が日頃から関係者とのたゆまぬ関係性の構築の成果によるものであり、毎年、多くの地区住民が訓練に参加することで防災意識の向上につながっている。</p> <p>さらに、自主防災活動の先進事例の発表を上天草市の自主防災組織研修会において引き受け、実務者ならではの経験に基づいた分かりやすい説明で参加者の防災スキルの向上に貢献し、研修会の目的が十分達成された。</p> <p>また、平時における避難路の整備や備蓄物資の補充等の自主防災活動を月に2回は実施しており、防災体制の整備は他の模範である。</p> <p>このように、地域住民、消防団及び行政との地域ぐるみの防災体制の構築が着実に進展しており、地域防災力の向上とその発展に大きく寄与している。</p>

功 績 概 要

個人 [防災思想の普及]

推 薦 者	静 岡 県
ふ り が な 氏 名	たかやなぎ よしなり 高柳 啓成
住 所	静岡県湖西市
職 業	退職者
功 績 の 概 要	<p>氏は、長年にわたり上の原自主防災会において自主防災委員を歴任し、現在でも自主防災会の一員として活動している。</p> <p>所属の上の原自主防災会では、防災訓練（年3回）や防災教育講習（年5回）に係る企画・立案、毎年入れ替わる自主防災会役員への班別訓練等の指導により、上の原地区の防災力の強化に尽力している。また、静岡県と協力し、ICTを活用した津波避難トレーニングを企画・実施した。</p> <p>また、平成22年からは、「湖西市地域防災指導員」として活動し、平成30年からは「湖西市地域防災指導員連絡会」の会長を務めている。</p> <p>市地域防災指導員として、市内の自治会や自主防災会、学校、外国人、老人施設等で開催される防災講座の講師を務めると共に、地域防災指導員が開催する勉強会や養成講座においても率先して講師を務めている。特に防災講座は、令和元年度には53回実施し、湖西市全域で積極的な防災普及活動を実施している。</p> <p>地域からの信望も厚く、防災講座や防災訓練の実施により多くの市民に防災思想の普及と啓発を行っていた。</p>

功 績 概 要

個人 [防災思想の普及]

推 薦 者	日 本 赤 十 字 社
ふ り が な 氏 氏 名	おおつか みえこ 大塚 三枝子
住 所	栃木県宇都宮市
職 業	主婦
功 績 の 概 要	<p>氏は、赤十字防災セミナーを通して、地域社会及び地域住民の自助及び共助（防災力）の向上に貢献した。</p> <p>平成16年から防災ボランティアとして、日赤栃木県支部が主催する防災ボランティア養成研修等の指導・運営に協力し、赤十字防災ボランティアの後進を育成するとともに、ボランティア活動を希望する市民に対して、ボランティア活動の参加にかかる社会環境の醸成に貢献した。</p> <p>平成29年度から、赤十字防災教育指導者として、指導的な立場で赤十字防災セミナーの実施・運営に協力し、地域住民への防災・減災の普及啓発に貢献した。</p> <p>赤十字防災ボランティアの育成や市民が赤十字をとおしてのボランティア活動に参加しやすい環境の醸成に貢献した。</p>

功 績 概 要

個人 [防災思想の普及]

推 薦 者	日 本 赤 十 字 社
ふ り が な 氏 名	まきの じゅんこ 牧野 純子
住 所	宮城県仙台市青葉区
職 業	イラストレーター兼フードコーディネーター
功 績 の 概 要	<p>氏は、令和元年東日本台風での災害において、日本赤十字社宮城県支部防災ボランティア・リーダーとして、日本赤十字社宮城県支部災害ボランティア・センターの運営に尽力した。</p> <p>ボランティアを支援するボランティアとして大郷町で実施した「赤十字支援隊」には延べ103名を派遣し、地元ボランティア・センターと連携しながら、被災地で活動する災害ボランティアに対し活動時の注意点等のレクチャーや負傷者の応急手当をするなど、安心安全なボランティア活動を通して、被災地の復旧活動に寄与した。</p> <p>また、非常食レシピを考案し、6年以上にわたり広報誌で同レシピの連載を続けるほか、炊き出しの指導や同レシピ集の作成・配付を通して、県民の防災意識の向上に尽力している。</p>

功 績 概 要

団体 [防災体制の整備]

推 薦 者	内 閣 府
ふ り が な 名 称	おむろんへるすけあかぶしきかいしゃ オムロンヘルスケア株式会社
所 在 地	京都府向日市
代 表 者 (団体での職名)	だいはせりしまりやくしやちよう おぎの いさお 代表取締役社長 荻野 勲
功 績 の 概 要	<p>オムロンヘルスケア株式会社は、東日本大震災以降、自然災害等のリスクへの対応を強化する取組や被災地支援等を進めているところ、今般のコロナ禍において、避難所における感染症対策が災害対応の急務の課題となっている中、入手困難である非接触型皮膚赤外線体温計について10,000本を全国知事会に、500本を内閣府防災担当に寄贈し、政府及び都道府県の防災体制の整備等について非常な貴重な支援を行った。</p> <p>当該体温計については、令和2年7月豪雨において、プッシュ型支援として、熊本県に送付されたところであり、被災者の感染症対策に多大な貢献を果たしたと評価できる。</p>

功 績 概 要

団体 [防災体制の整備]

推 薦 者	京 都 府
ふ り が な 名 称	きぬがさがつくじしゅぼうさいかい 衣笠学区自主防災会
所 在 地	京都府京都市北区
代 表 者 (団体での職名)	みたに きよし 三谷 規嘉
功 績 の 概 要	<p>衣笠学区自主防災会は、「災害に強い・安心安全のまち衣笠」を目指し、総合防災訓練、避難所運営訓練、普通救命講習、防火講習会等の活動を活発に行っている。</p> <p>全36自主防災部ごとに各自主防災部長が先頭に立ち、防火防災に関わる訓練等を自ら計画し実施している。</p> <p>この訓練では会長以下本部役員が出席し、会長自らが災害時における自助・共助の必要性を住民に訴え、より小さな単位である下部組織の自主防災部から、防火・防災意識の向上に努めている。</p> <p>また、地元の消防団員との連携はもとより、衣笠学区北西部の立命館大学・衣笠キャンパス地域連携課とも連携して、大規模災害発生時は同大学を地域の避難所とするなど、災害時の協定を結んでいる。</p>

功 績 概 要

団体 [防災体制の整備]

推 薦 者	鳥 取 県
ふ り が な 名 称	じょうえんはいつぼうさいかい 城園ハイツ防災会
所 在 地	鳥取県米子市
代 表 者 (団体での職名)	かいちょう まつうら あきら 会長 松浦 昭
功 績 の 概 要	<p>城園ハイツ防災会は、2級河川である精進川に隣接しており、大雨時は河川の氾濫による浸水被害や河岸侵食による家屋倒壊に警戒が必要な地区において、「逃げ遅れ0」を確実にするため、要支援者の把握及び支援者の擁立、水防訓練、台風前の防災会議、河川のモニタリング、有線放送での避難の呼びかけ等、災害時に迅速かつ適切に動ける避難体制を構築している。</p> <p>さらに、地区内の自衛隊OBや警察OB、建設関係者等の防災人材を積極的に活用している他、日頃からの防災の取組や災害種別ごとの取るべき対応、訓練についての指針をまとめた「城園ハイツ防災計画」を作成し、組織内に配布することにより、自助・共助の意識を醸成し、地域防災力の向上を図っている。</p> <p>また、火災訓練にも積極的に取り組んでおり、地域内の消火栓を使用し、目標物までのホース連結や放水訓練、素材ごとの燃焼実験などを行っている。これらの訓練の成果により、平成30年9月に地域内で火災が発生した際には、消防隊が到着する前に鎮火し、火災による延焼拡大を未然に防いだ。</p>

功 績 概 要

団体 [防災体制の整備]

推 薦 者	福 岡 県
ふ り が な 名 称	むなかたちくぼうさいきょうかい 宗像地区防災協会
所 在 地	福岡県宗像市
代 表 者 (団体での職名)	あしづ もとゆき 章 津 幹之
功 績 の 概 要	<p>宗像地区防災協会は、昭和49年に発足後、危険物災害撲滅のため、組織の充実強化を図り、また、産業界の高度成長に伴う特殊性のある災害に適応できるようにするため、定期的に会員研修を開催し、危険物や液化石油ガス等の取扱い及び管理に関する研究や各種訓練を実施し、会員の災害予防に関する知識と技術の向上に努め、より一層の災害予防体制に取り組んでいる。</p> <p>また、近年多発している自然災害による被害を軽減するため、「防災マップを活用した活動検討会」を開催するなど、九州北部豪雨を教訓として、自然災害に備える地域の協力体制の構築にも取り組んでいる。</p> <p>さらに、永きに渡り地域住民へ火災予防啓発などの防災広報活動を行うなど、幅広く防災活動を実施し、安全安心な街づくりを目指す防災体制の整備に多大な貢献をしてきた。</p>

功 績 概 要

団体 [防災体制の整備]

推 薦 者	全 国 社 会 福 祉 協 議 会
ふ り が な 名 称	いっばんしゃだんほうじんおーぶんじゃばん 一般社団法人OPEN JAPAN
所 在 地	宮城県石巻市
代 表 者 (団体での職名)	だいひょうりし 代表理事 よしざわ 武彦
功 績 の 概 要	<p>一般社団法人OPEN JAPANは、建設や土木に関する知識や技術を有するプロボノ団体でパワーショベルなどの建設重機、チェーンソーなどの動力工具を使った災害廃棄物や土砂の撤去、活動に危険が伴う屋根の修理や床下の清掃・消毒などで、専門技術や経験を活かした支援活動を主な活動としている。</p> <p>また、初めて被災し、ボランティアやNPOと連携した被災者支援のノウハウがない市区町村の社会福祉協議会や行政には、同団体の被災地での活動経験や知見に加え、他のプロボノ団体と連携して専門的な助言や提言、組織・団体間の活動調整などを行ってきている。</p> <p>被災地支援のもう一つの特徴は、単に被災した家屋の片づけを行うだけでなく、住宅再建を目指す被災者に対する相談支援活動、ボランティアと協働した復興活動などを展開していることがあげられる。例えば、地域で被災者支援を継続するNPOやボランティアの養成研修・技術研修の実施、仮設住宅でのサロン活動の実施・住民交流イベントの開催などである。</p> <p>こうした活動は団体の理念の一つである住民に寄り添った支援活動で、長期間被災地に滞在したり継続的に被災地を訪問したりしながら実施されている。</p> <p>このような活動の実績を評価するとともに、今後の災害支援活動の発展が期待できる。</p>

功 績 概 要

団体 [防災思想の普及]

推 薦 者	愛 知 県
ふ り が な 名 称	いわねじしゅぼうさいかい 岩根自主防災会
所 在 地	愛知県日進市
代 表 者 (団体での職名)	たかおか きよし 高岡 喜良
功 績 の 概 要	<p>岩根自主防災会は、防災だよりを、年4回のペースで発行しており、本年3月時点で通算70号の発行となっている。活動の結果や防災情報を防災だよりとして活動範囲内の全戸に配布し、災害への備えを呼びかけている。防災訓練のメニューも工夫を凝らしており、子ども達に地震から身を守るための行動を理解してもらいやすくするよう防災ソング「岩根防災の歌」を歌ったり、安否確認をスムーズに行うために「無事なら白いタオル掛け運動」を実施している。</p> <p>「各戸に水・非常食を必ず」を積極的に地域の方々に伝え、各家庭での防災対策向上運動を実施するなど、地域に対する防災思想の普及啓発について、創意工夫を凝らしながら展開している。</p>

功 績 概 要

団体 [防災思想の普及]

推 薦 者	徳 島 県
ふ り が な 名 称	いほくじしゅぼうさいかいはんらくきょうぎかい 渭北自主防災会連絡協議会
所 在 地	徳島県徳島市
代 表 者 (団体での職名)	会長 <small>のむら</small> 野村 <small>かつみ</small> 克己
功 績 の 概 要	<p>渭北自主防災会連絡協議会は、計画的に防災訓練、防災研修等を実施しており、津波避難困難地域であることから地域住民の防災意識も高く、毎回多くの地域住民が訓練等に参加している。</p> <p>また、自主防災会、学校、コミュニティセンター及び消防団等の各種団体と連携し、避難所での運営や避難経路の調査等、自主的に地域に根ざした防災活動を実施し、地域一丸となった協力体制を確立している。</p> <p>さらに、平成25年度に津波避難支援マップ、平成26年度に避難所運営マニュアル及び平成30年度に徳島市渭北地区津波避難計画を作成したほか、南海トラフ地震等の大規模災害が発生した場合の被害軽減につなげるよう、自主的に訓練を考案し、自助・共助意識の地域住民への啓発に努め、防災思想の普及に多大な貢献をしている。</p>

功 績 概 要

団体 [災害時の防災活動]

推 薦 者	日 本 赤 十 字 社
ふ り が な 名 称	ちばけんせきじゅうじほうしだん 千葉県赤十字奉仕団
所 在 地	千葉県千葉市中央区
代 表 者 (団体での職名)	おおつぼ ひろこ 大坪 絃子
功 績 の 概 要	<p>千葉県赤十字奉仕団は、千葉県が被災した令和元年房総半島台風からはじまる3つの大きな風水害において、発災日当日から炊き出しを行い、その後救援物資の仕分けや避難所の運営補助、義援金募集等、様々な地域・対象に対し、地域奉仕団を中心に2か月間延べ約900人が支援活動を行った。</p> <p>災害ボランティアセンターによって調整された活動ではなく、赤十字のボランティアグループとして地域に根差した固有の奉仕活動をした。</p>

功 績 概 要

団体 [災害時の防災活動]

推 薦 者	日 本 赤 十 字 社
ふ り が な 名 称	にほんせきじゅうじしゃとちぎけんしぶかngoほうしだん 日本赤十字社栃木県支部看護奉仕団
所 在 地	栃木県宇都宮市
代 表 者 (団体での職名)	かめやま やすこ 亀山 保子
功 績 の 概 要	<p>日本赤十字社栃木県支部看護奉仕団は、令和元年東日本台風により被害のあった栃木県宇都宮市において、ボランティア活動に従事する市民への体調管理や、感染症予防の普及啓発を実施した。</p> <p>地域社会の繋がり回復を目的に、宇都宮市社協が計画した生活復興支援事業「買い物バスツアー」において、参加者の救護、健康管理に協力した。</p>

(別紙2)

内閣府(防災担当) 総括担当 内野、前田 宛

FAX: 03-3503-5690

令和2年防災功労者防災担当大臣表彰式に係る
取材登録票

御 所 属			
取 材 方 法		ムービー・スチール・ペン (該当するものに○をしてください。)	
取 材 代 表 者	取 材 代 表 者 氏 名		
	連 絡 先	電 話	
		F A X	
取 材 同 行 者	同 行 者 1 氏 名		
	同 行 者 2 氏 名		
	同 行 者 3 氏 名		

※各施設間の移動に必要な交通手段は各社で準備をお願いします。
※登録期限:9月7日(月) 12時00まで(厳守)